



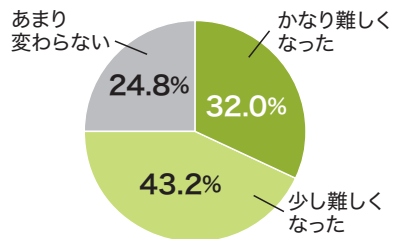
# 英語の定期テストが難しくなったのをご存知ですか？

難度があまり変化してこなかった定期テストですが、近年、英語で大きな動きがありました。多くの中学校で、英語の定期テストが難しくなったというのです。そのきっかけの一つが、2021年度の教科書改訂です。

この年の教科書改訂では、中学校の英語は「小学校で英語を学習してきた」ということを前提としたカリキュラムへと変更されました。そのため、中1のいわゆる「入門期」の学習が大幅に圧縮。これまでアルファベットの読み書きや、リスニングが中心で、簡単な自己紹介程度だった中1の最初の定期テストで、英語を読み書きできることを前提とした問題や、文法事項を問う内容が出題されるようになったのです。

また、中学校で扱う単語数の増加も、定期テストの難化に拍車をかけています。

2022年度の中1の1学期(2期制の場合は前期)英語の定期テストの難易度(前年度との比較)



定期テストはその特性上、学校や担当の先生による難易度のバラツキはありますが、8割近い塾の先生が、中1の定期テストが難化傾向にあると感じています。

定期テストの問題が難しくなったって、どれくらい難しくなったの？

実際の例をいくつか見てみましょう。

A

本当なんです。

Q

英語のテストが難しくなったって、本当？

A

学校や地域によって差はありますが、「難化した」と感じている方が多いようです。

Q

定期テストの難易度って変わるの？

